

TOSHIBA

REGZA

東芝ブルーレイディスクレコーダー 取扱説明書

形名 **DBR-4KZ600**
DBR-4KZ400
DBR-4KZ200



◆お客様登録サイト<レグザ メンバーズ>に登録をお願いします◆

「レグザ メンバーズ」は、映像商品のお客様登録サイトです。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが
受けられます。

※ Web 限定のサービスです。

<https://store.regza.com/members/>



このたびはブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

お求めの商品を安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に
この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

ご使用前に、「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読み
ください。

保証書はこの「取扱説明書」の66ページについておりますので、
お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

ご使用前に必ず
お読みください
安全上のご注意

4

準備をする

9

基本の使い方

25

さまざまな
情報

33

困ったとき
には

35

使用上のお願い
とご注意

53

仕様

61

もくじ

ご使用の前に.....	3
安全上のご注意.....	4

準備をする

付属品を確認する.....	9
本機で使えるメディアについて.....	10
各部のなまえとはたらき.....	12
事前に準備をする.....	15
「はじめての設定」をする.....	23
スタートメニューについて.....	24

基本の使い方

タイムシフトマシン録画番組を見る.....	25
見ている番組を録画する.....	26
番組表で予約をする.....	28
録画した番組を再生する.....	29
時短で見る.....	31
ディスクを再生する.....	32

さまざまな情報

ライセンス及び商標などについて.....	33
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報.....	34

困ったときには

症状に合わせて解決法を調べる.....	35
エラーメッセージが表示されたとき.....	49

使用上のお願いとご注意

使用上のお願いとご注意.....	53
お手入れについて.....	60
仕様.....	61
保証とアフターサービス.....	67
商品のお問い合わせに関して.....	68

- 本書は本機の設置・接続と基本的な操作について説明しています。
- 本機の詳しい操作については、取扱説明書ダウンロードページ内の取扱説明書・機能操作編をご確認ください。

取扱説明書ダウンロードページ 取扱説明書・機能操作編

DBR-4KZ200 : <https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100048&sid=1>

DBR-4KZ400 : <https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100047&sid=1>

DBR-4KZ600 : <https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100046&sid=1>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

DBR-4KZ200



DBR-4KZ400



DBR-4KZ600



ご使用の前に

この取扱説明書内のマークの見かた

お知らせ

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

用語

用語の説明をしています。(分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります)

お願い

取扱上のお願いを記載しています。

ご注意

取扱上のご注意を記載しています。



関連する内容が記載されているページの番号を示しています。



取扱説明書ダウンロードページ掲載の「機能操作編」取扱説明書の記載ページを示しています。

お知らせ

本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

本機で利用できるメディアやフォーマット

- 本機で利用できるメディアやフォーマットと、略号は以下の通りです。

HDD：内蔵ハードディスク

USB-HDD：外付けハードディスク

通常録画用 USB-HDD：通常録画用として登録された外付けハードディスク

タイムシフトマシン用 USB-HDD：タイムシフトマシン録画用として登録された外付けハードディスク

BD：BD-RE 方式の BD-RE / BD-R ディスク

BD-Video：映画ソフトなど、市販品の BD-Video ディスク

DVD-Video：映画ソフトなど、市販品の DVD-Video ディスク

CD：音楽用 CD

VR フォーマット：VR 方式の DVD-RW / DVD-R ディスク

安全上のご注意

必ずお守りください

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷* ¹ を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷* ² を負うことが想定されるか、または物的損害* ³ の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	“  ”は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“  ”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“  ”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 内部に水や異物がいったり、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

- 本体を落としたり、破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。破損したままでは取り扱わず、けがのおそれがあります。お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

- コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する



指示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない



火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない



禁止

本機が落ちて、けがの原因となります。

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む



指示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

- 上に物を置いたり、ペットをのせたりしない



上載せ禁止

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



分解禁止

感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、



禁止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
 - 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
 - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない



異物挿入禁止

ディスクトレイや通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

■ ディスクトレイ開閉口の前のものを置かない



禁止

ディスクトレイが開いたときに、ものに当たって倒れたり破損したりしてけがの原因となります。

■ 雷が鳴りだしたら、本機・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



禁止

感電の原因となります。

■ 電池は乳幼児の手の届かないところに保管する



指示

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する



指示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する



指示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない



禁止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ miniB-CASカードを取りはずしておく場合は、乳幼児の手の届かないところに保管する



指示

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

■ 無線LAN機能を使用する場合は、心臓ペースメーカーを装着している人は、心臓ペースメーカーの装着部位から本機を22 cm以上離す



指示

本機の無線LANの電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

■ 無線LAN機能は、病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



禁止

本機の無線LANの電波が医療用電気機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

■ 可燃性ガスのスプレーなどを使用しない



禁止

清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因となることがあります。

お手入れについて

- ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの差込口にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する



指 示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



注意

設置するとき

- 温度の高い場所に置かない



禁 止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。

また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

- 通風孔をふさがない



禁 止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあける)

押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。

テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。

じゅうたんや布団の上に置かないでください。あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

- 湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない



禁 止

加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

- 高い場所に設置しない



禁 止

本機が落下した場合に、けがの原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線ははずす



指 示

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因になることや、接続線などをはさずずに運ぶと、ひっかかるなどして、けがの原因となることがあります。

使用するとき

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



禁 止

タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを持って抜いてください。

- むれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

本体やリモコンの電源ボタンを押して電源が「切」や「待機」の場合でも、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ディスクトレイに手を入れない



禁 止

指をはさみ、けがの原因となることがあります。

特にお子様がいるときにはご注意ください。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない



禁止

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ リモコンに使用している乾電池は、



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

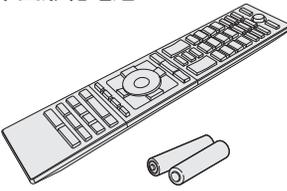
感電の原因となることがあります。

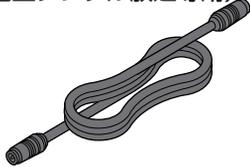
お手入れのしかたは **60** をご覧ください。

(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」 **53** をお読みください)

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください

付属品 / 名称	付属数
電源コード  ※ 本機専用です。他の機器では使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。	1 本
リモコン (SE-R0483) 単四形乾電池 	リモコン 1 個 乾電池 2 個 ※動作確認用

付属品 / 名称	付属数
アンテナケーブル 1.5m (地上デジタル放送専用)  ● 本機とテレビを接続するのに使用します。 19	1 本
miniB-CAS カード (台紙に貼り付けてあります) ● BS・110度CS/地上デジタル共用 	1 枚
かんたんガイド	1 枚
取扱説明書 (本書)	1 冊

- ※ 付属品のイラストはイメージであり、実物とは形状が異なる場合があります。
- ※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。

お知らせ

■ ACASチップについて

- ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。ACASチップには、これまでのB-CASカードの機能も含まれています。
 - ACASチップは、新4K8K衛星放送の受信機に搭載され、有料放送の視聴制御(CAS)や、無料放送の著作権保護(RMP)のために利用されています。
 - ACASチップの番号を確認される場合は、「ACASチップ情報を確認する」(機能操作編 **360**) をご覧ください。

本機で使えるメディアについて

ダビングできるメディアと録画モード

- デジタル放送をDVD-RW / DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使ください。

		ダビングできる番組の画質		
		DR	DR (4K)	AVC (HD画質)
HDD (内蔵ハードディスク)		○	○	○
録画用 USB-HDD (外付けハードディスク)		○	○	○
BD-RE SL(1層) / BD-RE DL(2層) / BD-RE TL(3層) Ver. 2.1、3.0(高速記録2倍速ディスクまで)		○	○	○
BD-R SL(1層) / BD-R DL(2層) BD-R TL(3層) / BD-R QL(4層) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0(高速記録6倍速ディスクまで)		○	○	○
DVD-RW Ver. 1.1、1.2(高速記録6倍速ディスクまで)	VRフォーマット	○	○	○
DVD-R(1層) Ver. 2.0、2.1(高速記録16倍速ディスクまで) Ver. 3.0(高速記録8倍速ディスクまで)	VRフォーマット	○	○	○

○:ダビングできる ×:ダビングできない

お知らせ

- 本機で対応しているDVD-RW / DVD-Rの録画方式はVRフォーマットです。
- HDDやUSB-HDDからディスクへのダビング時に、本機の動作音が通常よりも大きくなる場合があります
- 録画 / ダビング動作確認済みメディアについては、以下になります。(2021年8月現在)
 - DVD-R maxell: DRD120WPE, DRD120PWE, MITSUBISHI: VHR12JPP10
 - DVD-R DL MITSUBISHI: VHR21HDSP10
 - DVD-RW maxell: DW120WPA, Verbatim: VHW12NP10V1
 - BD-R Panasonic: LM-BR25LP10
 - BD-R DL Panasonic: LM-BR50LP10
 - BD-R TL Verbatim: VBR520YP1D4
 - BD-RE Panasonic: LM-BE25P10
 - BD-RE DL Panasonic: LM-BE50P10
- ※ メディアへの録画 / ダビング動作を確認しておりますが、すべてのメディアでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.regza.com/regza/bd_dvd/

再生できるメディア

		再生	録画リスト から再生	追っかけ 再生
HDD (内蔵ハードディスク)		○	○	○
録画用 USB-HDD (外付けハードディスク)		○	○	○
Ultra HD ブルーレイ		○	×	×
BD-RE SL (1層) / BD-RE DL (2層) / BD-RE TL (3層) Ver. 2.1、3.0 (高速記録2倍速ディスクまで)		○	○	×
BD-R SL (1層) / BD-R DL (2層) BD-R TL (3層) / BD-R QL (4層) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0 (高速記録6倍速ディスクまで)		○	○	×
DVD-RW Ver. 1.1、1.2 (高速記録6倍速ディスクまで)	VRフォーマット	○	○	×
DVD-R (1層) / DVD-R DL (2層) Ver. 2.0、2.1 (高速記録16倍速ディスクまで) Ver. 3.0 (高速記録8倍速ディスクまで)	VRフォーマット	○	○	×
BD-Video リージョンコードに「A」が含まれるディスク		○	×	×
DVD-Video リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク		○	×	×
音楽用CD (CD-DA) 音楽用CD形式で記録され、ファイナライズ済みのCD-RW / CD-R		○	○	×

○:再生できる ×:再生できない

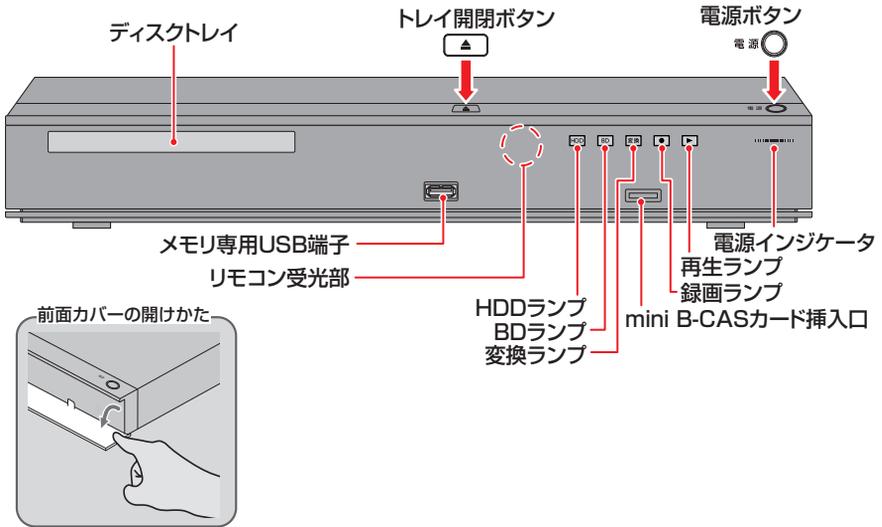
ご注意

- HD Recの再生については、本機では対応していません。
- AVCREC™の再生については、本機では対応していません。
- VCD / SVCDの再生については、本機では対応していません。
- HD DVDについては、本機では対応していません。
- +RW / +Rについては、本機では対応していません。
- DVD-RAMについては、本機では対応していません。

各部のなまえとはたらき

本機前面

※ 前面カバーが開いた状態



本機前面のランプについて

● 本機の動作中は、以下のようにランプが点灯・点滅します。

電源ランプ

- ・入(オン) ……白色点灯
- ・待機 ……橙色点灯
- ・切(オフ) ……消灯

HDDランプ

- ・メディアでハードディスクを選択中に点灯します。

BDランプ

- ・メディアでディスクを選択中に点灯します。

再生ランプ

- ・再生またはダビング中に点灯します。
- ・一時停止またはダビング中に点滅します。

録画ランプ

- ・録画またはダビング中に点灯します。

変換ランプ

- ・録画モード変換、4K放送の変換ダビング中に点灯します。

ディスクの入れかた

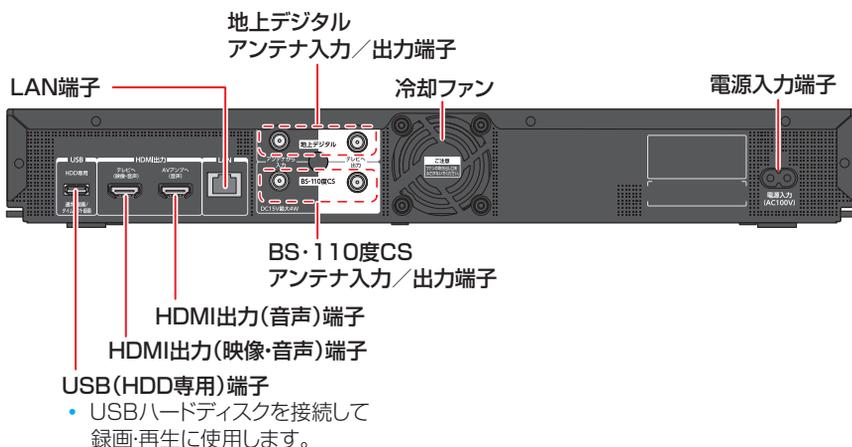
1. **トレ開閉** を押して、ディスクトレイを開く
2. ディスクのラベル面を上にして、ディスクトレイの上に置く
両面ディスクを再生するときは再生する面を下にしてください。



3. **トレ開閉** を押して、ディスクトレイを閉める
 - ディスクの認識と読み込みをおこなうため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
 - ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。
 - ディスクのメニュー画面が表示される場合は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ ● 新品(未使用)のディスクを入れると初期化(フォーマット)画面が表示されるので、その場合は「新品のディスクを初期化(フォーマット)する」(機能操作編 **347**)をご覧ください。

本機背面



ご注意 ● 背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物と間は10cm以上空けてください。

お知らせ ● 冷却ファンは機器内部の温度が上がると自動的に回転します。電源が「待機」の状態でも機器内部の温度が高い場合は冷却ファンが回転します。

リモコン

- 本機の電源を入れる/待機にする(または切る)
- テレビの電源を入れる/待機にする(または切る)
- ディスクトレイを開閉する
- テレビの入力を切り換える
- BS・110度CSの4K放送を楽しむ
- 番組名や放送局名、放送時間などを見る
- 放送の種類を切り換える
- データ放送を見る
- メディアを切り換える
- 音声を切り換える
- チャンネルを選ぶ(ワンタッチ選局)
- 文字を入力する

- チャンネルを順番に選ぶ
- スタートメニューを表示する
- Net. TVを楽しむ
- サブメニューを表示させる
- テレビの音量を調節する
- みるコレを表示する
- タイムシフトマシン録画番組を楽しむ
- おすすめの番組を見る
- 録画リストを表示する
ディスクのトップメニューを表示する
- 番組表で番組を選ぶ
ディスクのメニューを表示する
- メニューから選ぶ、決定する
- メニュー操作で一つ前の画面に戻る
- 操作を終了する
- ワンタッチリプレイ(10秒戻し)
- ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)
- 番組表などでページを切り換える

- カラーボタン
- 再生、早見早聞再生をする
- 早送り、早戻しをする
- チャプタースキップをする
- 録画や再生を停止させる
- 再生を一時停止させる
- 映像を静止させる
- 再生番組の始めにジャンプする
- 「シーン検索」機能を楽しむ
- 番組を録画する

- 「ざんまいスマートアクセス」を楽しむ
- 次みるナビで番組を探す

- テレビ操作用のボタン([TV電源]、[TV入力切換]、[+音量-])は、「はじめでの設定」の「⑤ テレビリモコン設定」(機能操作編 **24**)、または「テレビ操作用のボタンの設定をする」(機能操作編 **338**)の設定をすることで、お使いのテレビを操作できます。



事前に準備をする

- テレビやアンテナとの接続、リモコンの準備など、本機の電源を入れるまでの準備をします。
- ※本機を設置する際には、本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

アンテナ接続に関するお願いとご注意

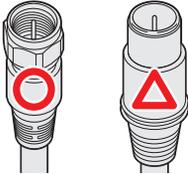
- ※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナや接続に必要なアンテナ線(本機とテレビを接続するための地上デジタル放送専用アンテナケーブル以外のアンテナケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。

機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

- F型コネクタがネジ式のアンテナ線をおすすめします。

差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。

ネジ式の例 差込式の例



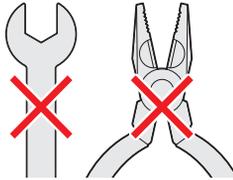
- F型コネクタのピンが曲がっていないか確認してください。

曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

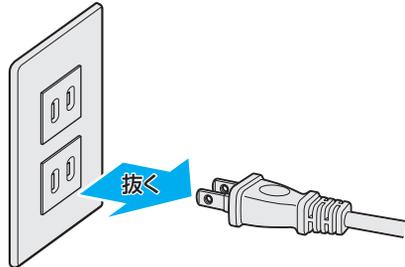


- アンテナ線のF型コネクタは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。

工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力/出力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。



- アンテナを接続するときは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



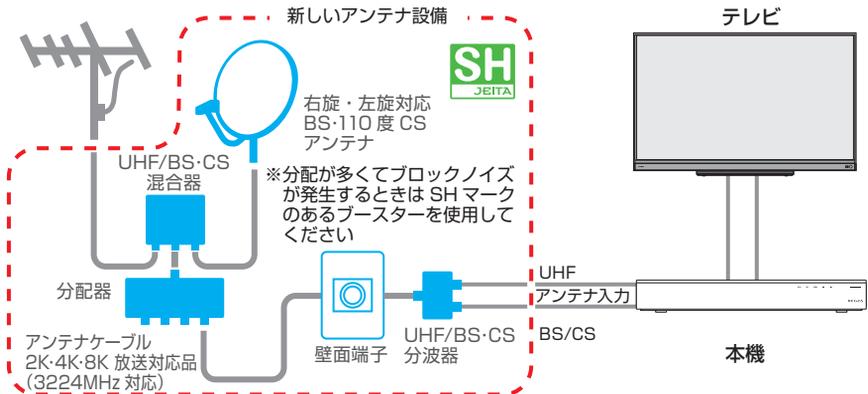
BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意

現在ご使用のBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき

- 右旋円偏波の電波で提供される日本放送協会(NHK)、BS日本(BS日テレ)、ビーエス朝日、BS-TBS、ビーエスフジ、BSテレビ東京の4K放送は、従来のアンテナ設備でご覧いただけます。

新しいBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき

- 左旋円偏波の電波で提供されるSCサテライト放送、QVCサテライト、WOWOW、スカパー・エンターテインメントの4K放送をご覧いただくためには、SHマークのついた新4K8K衛星放送に対応したBS・110度CSアンテナ設備が必要になります。
アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。



ご注意

- 上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。
また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

新4K8K衛星放送に関するお問い合わせ

- 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ
<https://www.apab.or.jp>

有料放送をご利用になる場合のご注意

- WOWOWやスカパー！などの有料放送をご利用になる場合は、有料放送の契約をおこなってください。契約には、ACASチップやB-CASカードのID番号が必要になります。
- 「[はじめての設定]をする」**[233]**を実行してから、確認してください。

1. ACASチップとB-CASカードのID番号を確認する

ACASチップのIDを確認するには

- **[スタートメニュー]** を押し、▲・▼・◀・▶と**[決定]**で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「ACASチップ情報」の順に進む

B-CASカードのIDを確認するには

- **[スタートメニュー]** を押し、▲・▼・◀・▶と**[決定]**で「設定」⇒「放送受信設定」⇒「B-CASカード情報」の順に進む

2. 有料放送事業者と契約する

- 有料放送事業者によって、契約方法が異なります。くわしくは有料放送事業者にお問い合わせください。
- 有料放送を契約するときは、タイムシフトマシン機能を解除してください。解除方法についてくわしくは「タイムシフトマシン機能を開始/停止する」(機能操作編**[299]**)をご覧ください。

3. 契約が完了したことを確認する

- 有料放送チャンネルを選び、映像と音声が入正しく出力されているかご確認ください。
- miniBCASカードを有料契約に使用した場合は、有料契約したチャンネルをタイムシフトマシン録画し、その番組を再生して、映像と音声が入正しく出力されているかご確認ください。

4. NHKにBS受信機設置の連絡をする

- ACASチップ(視聴、予約録画用)、miniB-CASカード(タイムシフトマシン用)のID情報をご連絡ください。

ご注意

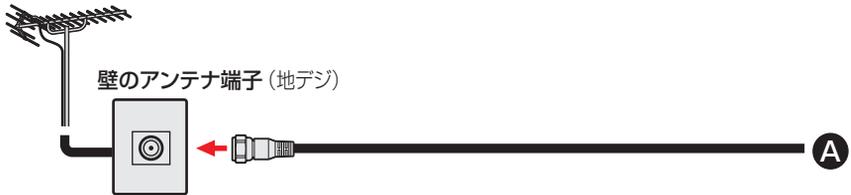
- くわしくは有料放送事業者にお問い合わせください。
- どのIDで有料放送を契約したらよいのかを確認するには、「CASについて(機能操作編**[296]**)」をご覧ください。

テレビやデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

地上デジタル放送のみ受信できる場合

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

UHFアンテナ(地デジ)

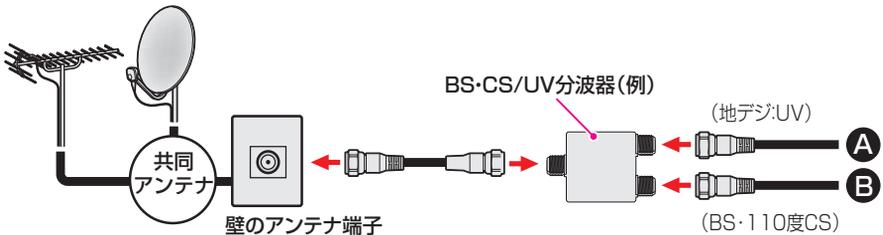


地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送が受信できる場合

地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が1つのときと、アンテナ端子が別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

アンテナ端子が1つのときは

マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。

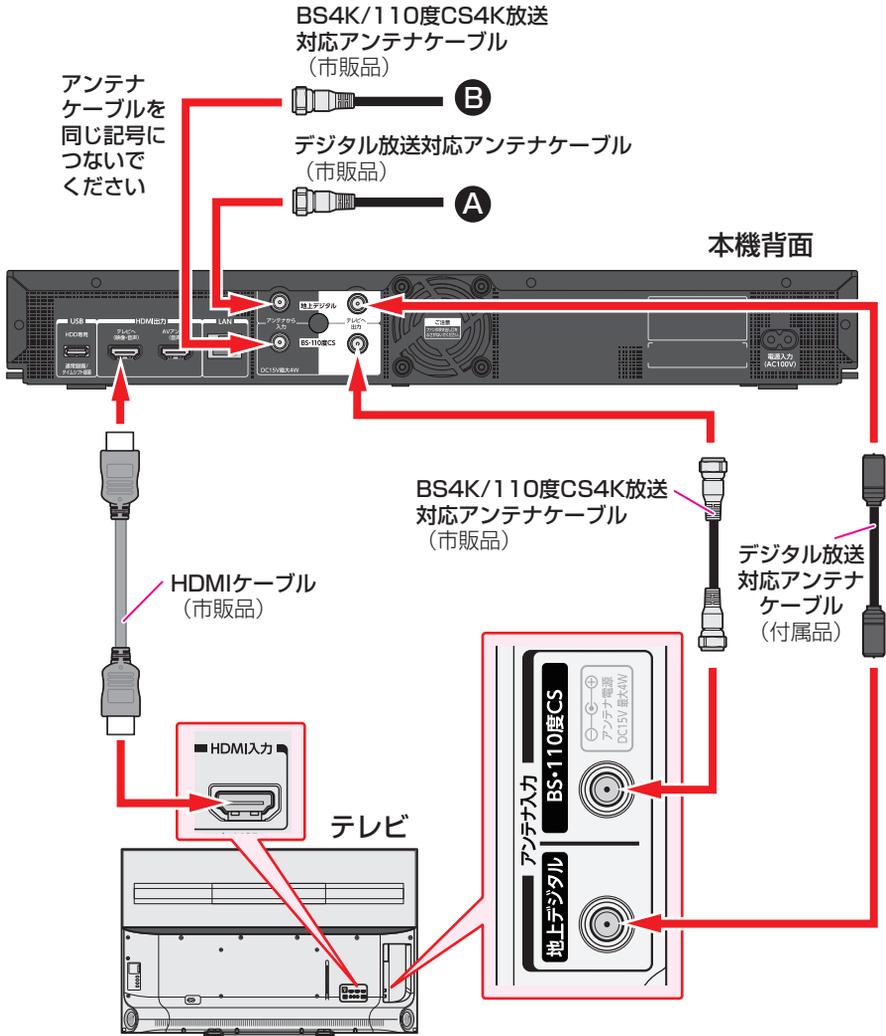


アンテナ端子が別々のときは

BS・110度CS共用アンテナ



- 地上デジタル放送用アンテナの接続については、上記「地上デジタル放送のみ受信できる場合」を参照してください。



- HDMI[®]ケーブルは、プレミアムハイスピードHDMI[®]ケーブル(市販品)をご使用ください。
- 4K/HDR信号を視聴するためには、「テレビ側」のHDMI入力端子の設定をご確認ください。(設定方法についてはテレビの取扱説明書を参照してください)

レグザをご使用の場合：

外部入力設定のHDMIモードを「高速信号モード」に設定してください。

当社以外のテレビをご使用の場合：

4K入力、HDR入力ができる設定に切り替えてください。

- 接続確認済みHDMIケーブルについては、以下になります。(2021年8月現在)
 - ・ JVCケンウッド HDMIケーブル EPシリーズ
 - ※ 東芝テレビとの接続動作を確認しておりますが、すべてのケーブルでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
https://www.regza.com/regza/bd_dvd/

■著作権保護について

本機のHDMI出力端子は、HDCPで著作権保護されている映像に対応しています。
対応HDCPバージョン：HDCP1.4、HDCP2.3

- ※ 4K/HDRで視聴するためには、HDCP2.2/2.3対応のテレビに接続してください。
- ※ HDCP非対応のテレビ、モニターに接続すると放送を録画した番組などの映像や音声は出力されません。

ご注意

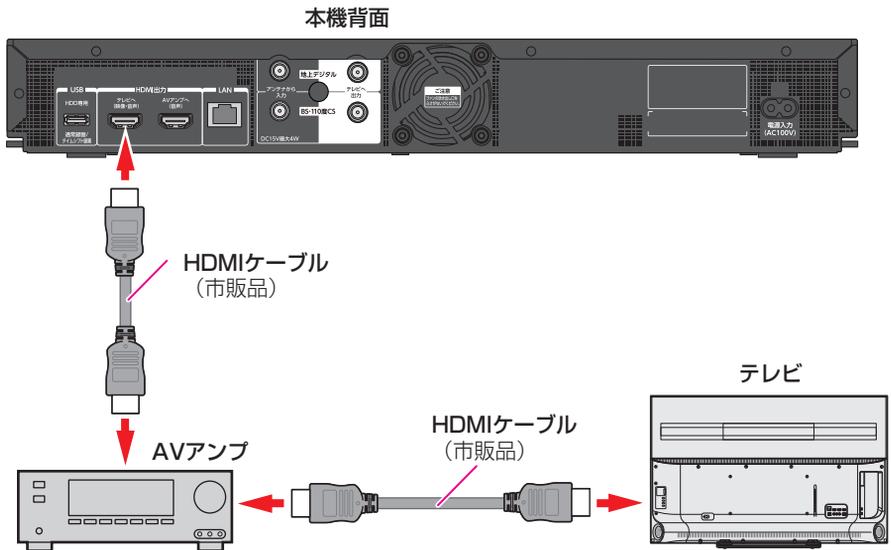
- 本機の起動モード設定で「省エネ起動」を選択している状態で、本機を經由してテレビへアンテナ接続をしている場合、本機の電源をオフにするとテレビで放送が受信できなくなることがあります。

この場合、アンテナ分配器を使って、本機とテレビの両方にアンテナを接続するか、起動モード設定で、「通常起動」か「高速起動」を選んでください。

AV アンプとつなぐ

- Dolby信号やDTS信号に対応したアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。
- HDMIロゴのあるプレミアムハイスピードHDMI®ケーブル(市販品)をお使いください。

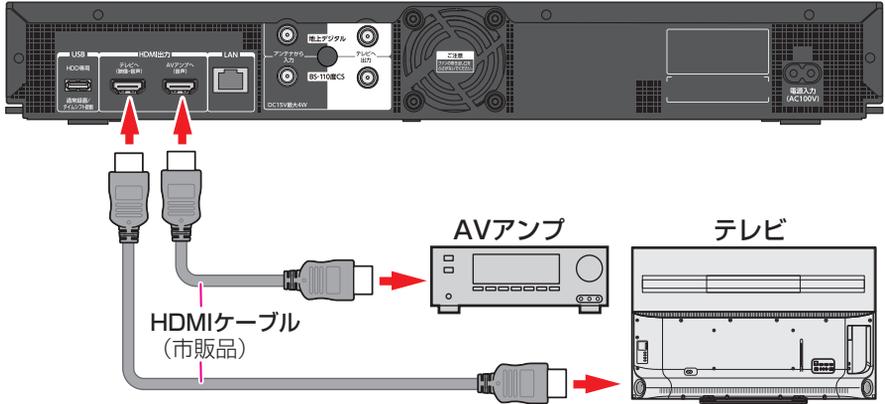
4K映像対応のアンプと接続するとき



4K映像非対応のアンプと接続するとき

※ 「HDMI | 接続設定」の「HDMI | 音声出力」を「音声」に設定してください。

本機背面



※ HDMI | (音声)端子は480p入力しか対応していないHDMI機器をサポートしておりません。

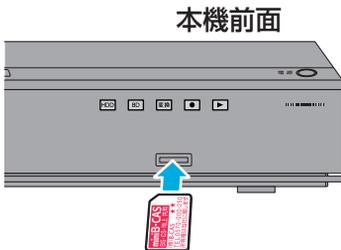
お知らせ

- 映像と音声のタイミングにずれが生じている場合は、「設定」の「音声出カタイミング(調整)」(機能操作編 **295**)メニューで調整してください。

miniB-CAS(ミニビーカス)カードを挿入する

miniB-CASカードの赤色面を上に向け、★マークのある側から本機背面のカード挿入口にまっすぐ差し込む。

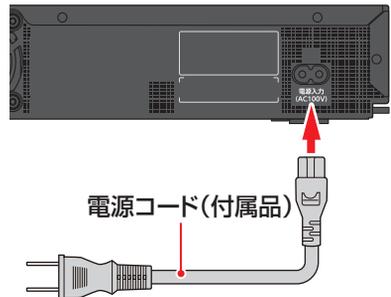
- 「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。



電源コードを接続する

1. 電源コード本機背面の電源入力端子にしっかりと接続する
 - 奥までしっかりと差し込みます。

本機背面



2. 電源プラグをコンセントに差し込む
 - 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

リモコンに電池を入れる

1. 電池カバーをはずす

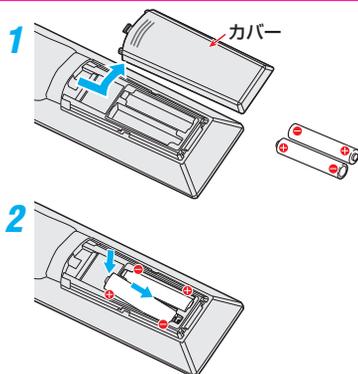
- カバーを下方方向に押しながらかげながら、電池カバーを取りはずします。

2. 乾電池を入れる

- 極性表示 \oplus と \ominus を確かめて、間違えないように入れます。

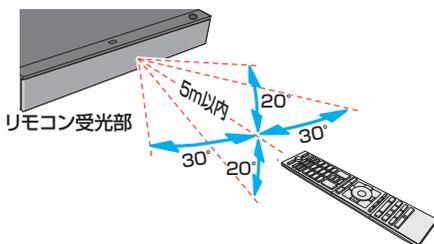
3. 電池カバーを閉める

- カバーをはずしたときと逆の手順で閉め、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



リモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使います。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



- リモコン受光部から
距離…5m以内
角度…左右30° 以内、上下20° 以内

リモコンコードについて

- 本機のリモコンは、リモコンコードの切換ができます(機能操作編 **337**)
- お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。
- ※ 「リモコンコード1」以外に設定して使用していた場合、電池交換などでリモコンから乾電池を取りはずすと「リモコンコード1」に戻ることがありますので、ご確認ください。

ご注意

■ リモコンの取り扱い

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お願い

■ 乾電池について

- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

テレビの入力を切り換える

1. テレビの電源を入れる



2. テレビの入力切替で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える



本機の電源を入れる

1. リモコンまたは本機の「電源」ボタンを押す

- 電源が「入」になり、「電源」表示が白色に点灯します。画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- リモコンの **トリ/開/閉**、**電源**、**スタート/メニュー**、**録画/リスト**、**番組表**、または **過去番組表** を押して電源を入れる事もできます。

※ はじめて本機の電源を入れたときは、テレビの画面に「はじめての設定」の開始画面が表示されます。

電源を「待機」 / 「切」にする

1. 電源が「入」のときに、リモコンまたは本機の「電源」ボタンを押す

- 「待機」と「切」は、録画などの内部動作状態で自動的に変わります。

「はじめての設定」をする

「はじめての設定」を開始する

- 接続が終わって初めて本機の電源をオンにしたときは、テレビ画面に「はじめての設定」の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。詳しくは、「はじめての設定をする」(機能操作編 **19**) をご覧ください。

- 「はじめての設定」は、必ずアンテナが接続された状態で放送がある時間帯におこなってください。放送がない時間帯におこなうと、チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 「はじめての設定」実行中は、電源プラグを抜かないでください。
- 「はじめての設定」実行中に、[リモコン電源] **電源** を押すと本機の電源はオフになりますが、「はじめての設定」が完了したことにはなりません。次回起動時に「はじめての設定」を最後まで設定してください。

ネットワークを利用するときは

- あらかじめ本機をネットワークに接続してください。(機能操作編 **228**)

1. [リモコン電源] を押して本機の電源をオンにする

- 「はじめての設定」の開始画面が表示されます。

はじめて電源をオンにしたときに画面が表示されないときは

次のことを確認してください。

- アンテナ⇄本機⇄テレビをつないでいますか。また、ケーブルやコードが抜けていたり、つなぎ間違えたりしていませんか。ケーブルやコードの接続方法については、「事前に準備をする」(**153**) をご覧ください。
- テレビの入力切替で本機を接続した入力に切り換えていますか。

スタートメニューについて

スタートメニューについて

- **スタートメニュー** を押して表示されるスタートメニューから、さまざまな機能を利用できます。
- 操作ができない項目はグレー表示されます。



機能名		できること
	番組表	・ 番組表を表示します。(機能操作編 50)
	タイムシフトマシン 過去番組表	・ タイムシフトマシン録画した番組の中から好みの番組を見つけ出し、見ることができます。 25
	録画リスト	・ 録画リストを表示します。 29
	みるコレ	・ 「みるコレ」画面を表示します。(機能操作編 282)
	予約	・ 予約リストを表示します。(機能操作編 91)
	ダビング	・ ダビング画面を表示します。(機能操作編 183)
	設定	・ 「設定」画面を表示します。(機能操作編 284)
	ディスクの管理	・ 「ディスクの管理」画面を表示します。(機能操作編 347)

タイムシフトマシン録画番組を見る

- タイムシフトマシン機能とは、お好みのチャンネルの番組をあらかじめ設定しておいた曜日や時間帯に合わせて自動的に録画しておき、お好きな時間に視聴したり保存したりできる機能のことです。詳細は、機能操作編の「タイムシフトマシン機能を使う」(機能操作編 **105**) をご覧ください。
- ※ 「はじめでの設定」で「タイムシフトマシン設定」をおこなっていない場合は、「タイムシフトマシンの設定をする」(機能操作編 **296**) をご覧になって設定をおこない、タイムシフトマシン録画を「する」に設定してください。

基本操作

- タイムシフトマシン機能で録画された番組を選び、視聴できます。またタイムシフトリンク連携機能(機能操作編 **247**)を使って、他の部屋にあるタイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を、本機の過去番組表と同時に表示することができます

1. 過去番組表 を押す

- タイムシフトマシン録画で録画された番組が、過去番組表で表示されます。
- タイムシフトマシン録画された番組もしくはタイムシフトリンクで録画された番組で、視聴年齢制限されている場合は、伏せ字(「* * * *」)で表示されます。
※ 番組によっては、伏せ字で表示されない場合があります。
- 「週間過去番組表」については、「週間過去番組表を表示させる」(機能操作編 **114**) をご覧ください。

- 選んだ番組の番組説明を見るには、サブメニューから「番組説明」を選びます。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、**決定** を押し、**1** ~ **10** (0) で暗証番号を入力します。

3. 決定 を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- 前回途中まで見た番組は続きから再生されます。

2. 見たい番組を ▲▼◀▶ で選ぶ

- 過去番組表に表示されていない日時 of ページを表示させるには **▲▼** を押します。
- **青** を押すと、選ばれているチャンネルの最新番組へ移動します。
- **赤** を押すと日時指定ジャンプ画面が表示されます。日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。
- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見たいときは、サブメニューから「頭出し再生」を選びます。

4. タイムシフトマシン再生を終了する

には、**停止** または **終了** を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- タイムシフトマシン再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
- 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシン再生が終了します。
- 番組を選び直すには、手順 **1** から操作します。

【過去番組表の例】

「タイムシフトマシン録画設定」で設定したチャンネルが表示されます。

タイムシフトマシン録画で録画された時間帯の番組が表示されます。



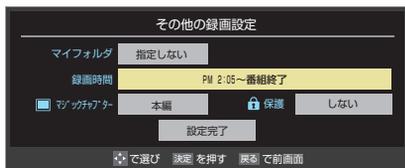
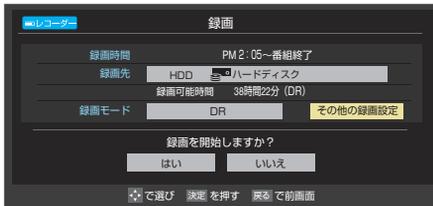
保存済アイコン

選択されている番組

見ている番組を録画する

- 今本機で受信して見ている放送番組を簡単に録画することができます。受信しているテレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。

1. 本機で受信しているテレビ放送を見ているときに **録画** を押す
 - 録画できない番組の場合は、**録画** の操作は無効です。
2. 録画設定を変更する場合は、**▲▼◀▶** で項目を選んで **決定** を押す
 - 録画先のディスクや、録画する画質を設定できます。



その他の録画設定でできる設定

- **マイフォルダの変更**
番組を録画するフォルダを変更できます。
- **録画時間の変更**
お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。
 - 1 「録画時間」で **決定** を押し、「時間指定」で録画終了時刻を設定して **決定** を押す
 - 設定できる時間は最大14時間59分です。
 - 2 「設定完了」を選び、**決定** を押す

- **マジックチャプター** (機能操作編 **80**) の変更
チャプター分割の設定を変更できます。
- **保護設定の変更**
録画した番組を間違えて削除できないように保護する設定ができます。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

- 機能操作編の「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」(機能操作編 **88**) をご覧ください。
3. **▲▼◀▶** で「はい」を選び、**決定** を押す
 - 録画が開始されます。
 - 外出する場合は、本機の電源を「待機」にします。(録画は継続されます)

- ※ **タイムシフト録画で6ch録画を設定している場合…**
2番組の予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。
タイムシフト録画を5ch以下に設定している場合…
3番組の予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

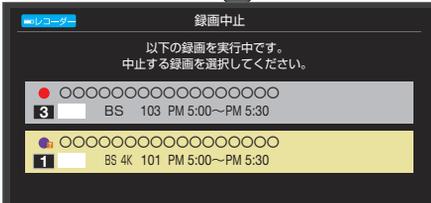
この操作で複数の番組を同時録画しているときに予約録画が始まるときは、この操作での録画の一方が中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。

① 録画中に  または  を押す

- 2番組以上の同時録画をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を ・ で選んで、 を押します。

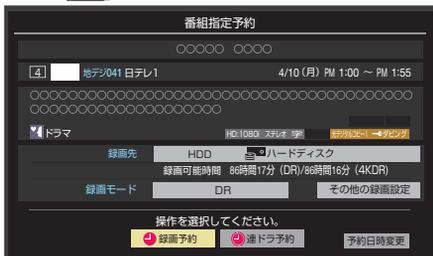


- 視聴用チューナーを使用している録画の場合、視聴用チューナーのアイコン（）が表示されます。
 - 4K番組の同時録画の場合、視聴用チューナーでの録画を中止すると番組が視聴できるようになります
- ② 「録画中止」の画面で、 で「はい」を選んで  を押す
- USBハードディスクの残量が不足し、録画開始できない場合、録画先を自動的に本体のハードディスクに変更して録画を開始します。
 - 本体のハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。ハードディスクの残量の確認するには、機能操作編の「機器の情報を確認する」(機能操作編 ) をご覧ください。

番組表で予約をする

- 番組表で録画したい番組を選んで予約します。詳細は機能操作編の「番組表で予約をする」(機能操作編 **81**) をご覧ください。

1. **番組表** を押して、番組表を表示させる
2. 予約する番組を **▲・▼・◀・▶** で選び、**決定** を押す
 - 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。
3. 以下の操作で予約をする
 - 録画機器や設定を変更する場合は、機能操作編の「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」(機能操作編 **88**) の操作をします。



1. **▲・▼・◀・▶** で「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、**決定** を押す
 - **録画予約**：指定した番組の録画を予約します。
 - **連ドラ予約**：同じ番組を毎回録画します。
2. 「予約を設定しました。」が表示されたら、**決定** を押す
 - ※ 視聴用チューナーで録画する場合、視聴用チューナーでの録画中の動作に関するメッセージが表示されます。視聴用チューナーで録画中の動作については「3番組同時録画(トリプル録画)と視聴用チューナーについて」(機能操作編 **76**) をご覧ください。

予約する日時を変更する場合

- 再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。
1. **▲・▼・◀・▶** で「予約日時変更」を選び、**決定** を押す
 2. メッセージが表示されたら、**◀・▶** で「はい」を選び、**決定** を押す
 3. 「日時を指定して予約をする」(機能操作編 **85**) の手順**3**以降の操作をする

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、くわしくは「視聴できる番組を制限する」(機能操作編 **329**) をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」(機能操作編 **60**) をご覧ください。

1ボタンで予約をする

- 番組表を表示中に **録画** を押すと、一発予約ができます。
- ※ 一発予約では、録画先は内蔵ハードディスクになります。

番組の冒頭から再生するー最初から再生

- 1 再生する番組を選んでから、**サブメニュー**を押し、▲・▼で「最初から再生」を選んで**決定**を押す

録画中の番組を再生するー追っかけ再生

- 1 録画中の番組を▲・▼で選んで**決定**を押す

チャプターの一覧画面から再生する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。
- 1 再生する番組を選んでから、**サブメニュー**を押し、▲・▼で「チャプター一覧」を選んで**決定**を押す
 - チャプター一覧画面が表示されます。
 - 2 再生するチャプターを▲・▼・◀・▶で選んで**決定**を押す
 - 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にチャプターを選んで再生位置を指定する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。
- 1 **サブメニュー**を押し、▲・▼と**決定**で「サーチ」⇒「チャプターサーチ」を選ぶ
 - 再生バー上のチャプター表示が、入力モードに切り換わります。
 - 2 **1** ~ **10** ⁽⁰⁾でチャプターを指定し、**決定**を押す。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

- 1 **サブメニュー**を押し、▲・▼と**決定**で「サーチ」⇒「タイムサーチ」を選ぶ
 - 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。
- 2 **1** ~ **10** ⁽⁰⁾で時間を指定する
例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10 ⁽⁰⁾ **1** **2**
5 **10** ⁽⁰⁾ **5** の順に押します。

お知らせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります。(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています。)
- 録画リストについて
 - 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
 - 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が3000とSeeQVault™形式の番組が3000で合計6000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
 - 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

時短で見る

- 再生コースを変更することで、録画した番組を効率よく再生することができます。

1. を押す

2. 必要に応じて録画リストの表示を変える

3. 見たい番組を▲・▼で選ぶ

4. を押して再生コースを選ぶ

- を押すごとに、選んだ番組の再生コースが切り換わります。
- 再生コースは、録画番組ごとに設定できます。



● 通常再生

録画したそのままの時間で番組を再生します。

● らく見

通常再生に比べて再生時間が短くなります。

● らく早見

早見早聞(約1.3倍速または1.5倍速)で【らく見】再生します。

● 飛ばし見

【らく見】再生をしながら1/20スキップを繰り返しおこないます。

5. を押す

- 選んだ再生コースでの番組の再生が始まります。

お知らせ

- 録画番組によっては、選択できないコースがあります。その場合、再生時間の欄に「×」が表示されます。
- 「らく見」、「らく早見」、「飛ばし見」で再生中に「サブメニュー」から「タイムサーチ」をした場合、再生コースは「通常再生」に戻ります。
- 「飛ばし見」で再生中に以下の操作をすると、「らく見」または「通常再生」に再生コースが切り換わります。



ディスクを再生する

- ディスクに録画された番組を見る場合については、「録画した番組を再生する」(機能操作編 **135**) もご覧ください。

Ultra HD ブルーレイ再生の前に

- 4K/HDRで視聴するには、HDCP2.2/2.3、4K/60p/4:4:4、Ultra HD ブルーレイ規格のHDR信号に対応している機器と、18Gbps対応のHDMIケーブル(プレミアムハイスピードHDMIケーブルなど)が必要です。
- 以下の場合にはHDR信号のダイナミックレンジ(明暗比)を標準に変換して出力します。またディスクによっては正しく再生できない場合があります。
 - 60p素材の再生で、4K/60p/4:2:0まで対応の機器や端子に接続した場合
 - HDRやHDCP2.2/2.3に対応していない機器または端子に接続した場合
- 接続する機器側でも設定を変更する必要がある場合があります。設定のしかたについて、くわしくは接続機器側に付属の取扱説明書をご覧ください。

ブルーレイディスクやDVDを再生する

1. 再生したいディスクを入れる

- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は、画面の指示に従って操作してください。

2. を押す

再生を停止するときは

-  を押す
- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
- ※ ディスクによっては、レジュームポイントを記憶できないものもあります。

メニューを操作する

- ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。また、Ultra HD ブルーレイ/BD-Videoの場合は再生中にポップアップメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
 - ※ メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
- ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

1. または を押す

- メニュー画面が表示されます。

2. お好みの番組や項目を選び、 を押す

音楽用CDを再生する

1. 再生したいディスクを入れる

- トラックリストが表示されます。
- すでにディスクが入っていて、トラックリストを表示したい場合は、 を押してください。

2. お好みのトラックを選び、 または を押す

再生を停止するときは

-  を押す

ライセンス及び商標などについて

● ACCESS™ NetFront®

本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。

ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

● Dolby Audio

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

● DTS

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>.

Manufactured under

license from DTS, Inc. (for companies headquartered in the U.S./Japan/Taiwan) or under license from DTS Licensing Limited (for all other companies). DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

● HDMI®

HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

- SeeQVault™およびSeeQVaultロゴは、NSM initiatives LLCの商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)、Ultra HD Blu-ray™、BDXL™および関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- Google Chrome、Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Microsoft Edgeは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

- この製品に含まれているソフトウェアをリパース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

● AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

- This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

PlayReady end user notice

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
- This product has used the FreeType code.

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス

https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、当社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または当社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけず、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとし、また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切関与いたしません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する損害について一切関与いたしません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインターフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、設定の「ソフトウェアのライセンス情報」から表示し、確認できます。

これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は、当社以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を表示します。

症状に合わせて解決法を調べる

- 正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝DVDインフォメーションセンター」にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。

このような場合は故障ではありません

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
天候が回復すれば正常に映るようになります。
- 使用していないのに温まる
使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

本機が操作できなくなったとき—本機をリセットする

- リモコンでも本体前面の電源ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作を試みてください。

電源プラグを抜いてリセットする	本体の電源ボタンを長押ししてリセットする
<ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源ボタンを4秒以上押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す <ul style="list-style-type: none"> ● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	● 電源プラグをコンセントに差し込みます。	—
電源コードが本体から抜けていませんか。	● 電源コードのプラグを本体に接続します。	21
「電源」表示が橙色に点滅していますか。	● 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	—
「電源」表示が橙色／白色に交互に点滅していますか。	● ソフトウェアの更新を行っているため、「電源」表示の点滅が終わるのを待ってから操作してください。	—

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンと本機の間障害物はありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 障害物を取り除きます。 	—
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 新しい乾電池に交換します。 	22
リモコンの乾電池の向き(+、-)が合っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 向き(+、-)を確認し、正しく入れてください。 	22
リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。 	337

HDDまたはUSB-HDDの操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
本機のBDランプが点灯していませんか。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの HDD/BD を押して操作するメディアを切り換えてください。 	135

ディスクの操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
本機のHDDランプが点灯していませんか。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの HDD/BD を押して操作するメディアを切り換えてください。 	135
ディスクが入っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクトレイにディスクを入れてください。 	13

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
テレビに正しく接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 確認して正しく接続します。 	18
テレビの電源がはいっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの電源を入れます。 	—
接続した入力に切り換えましたか。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの入力切換で、本機を接続した入力端子を選びます。 	23
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※屋外の接続については、販売店にご相談ください。 	18

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。(折らないようにご注意ください)	—
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	—
電波が弱くありませんか。	• アンテナレベルを確認します。 • アンテナの向きを調整してみます。(販売店にご相談ください)	314▶
アンテナ線の差し込みがゆるんでいたたり、接触不良になっていたりしていませんか。	• 確認して、しっかりと接続します。	15▶
アンテナ線(端子)がさびていませんか。	• 販売店にご相談ください。	—

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、
または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• サブメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル表示」でアンテナレベルを確認します。 ※推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	47▶
「初期スキャン」をしましたか。	• 「初期スキャン」をします。	319▶
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB) ホームページ (https://www.apab.or.jp/) で確認することもできます。	—
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)	—

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	—

確認すること	解決法・その他	ページ
有料放送ではありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 	—
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。 	183
本機またはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 左記の機器は、本機またはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。 	—
左旋円偏波に対応した機器を使用していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 左旋円偏波に対応した機器をご使用ください。対応していない場合、一部のBS・110度CSの4K放送はご覧になれません。 	163
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。「衛星アンテナ電源供給」設定が「する」に設定されていることを確認してください。 ※アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。 	317

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 「番組表を更新する」の操作をします。 	— 55

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
—	<ul style="list-style-type: none"> 番組表を表示中に 赤 を押して、文字の大きさを変更することができます。 	57

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にしていますか。	• 番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。	56
「チャンネルスキップ設定」でスキップ「する」に設定していませんか。	• 「チャンネルスキップ設定」でスキップ「しない」に設定します。	323

お知らせアイコン  が何度も表示される

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※未読のお知らせが1件でも残っていると、  を押したときにアイコンが表示されます。	356

録画・再生

ディスクが再生されない

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。	• 本機で再生できるメディアについては「再生できるメディア」をご覧ください。	11
ディスクはファイナライズされていますか。	• ディスクをファイナライズしてください。 • 他機で録画されてファイナライズされていないBD-R(BD-AVフォーマット)DVD-RW(VRフォーマット) / DVD-R(VRフォーマット)は、本機では再生できません。	348 —

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
接続ケーブルは正しく接続されていますか。	• 「事前に準備をする」に従って、正しく接続します。	15
ハードディスクまたはUSBハードディスクの残量が足りていますか。	• 残量を確認する。 • 不要な番組を削除する。	151 205
コピー禁止の番組ではありませんか。	• 録画はできません。	—
独立データ放送番組、ネットワークからの映像などではありませんか。	• 本機は左記の番組や映像の録画には対応しておりません。	—

<p>予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ 「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。 	<p>90</p>
<p>連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード(「第〇〇話」や出演者名など)を削除します。 	<p>88</p>
<p>「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。 	<p>356</p>

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
<p>録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 録画中や録画設定をしたときは電源プラグや接続ケーブルを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 • 「録画番組を修復する」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになります。 	<p>—</p> <p>144</p>
<p>録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 録画リストの分類タブを ◀・▶ で「すべて」に変更する。 ※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。 	<p>29</p>

ディスクの編集ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
<p>ディスクは保護されていませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクの保護設定を解除してください。 	<p>350</p>
<p>ディスクはファイナライズされていませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ファイナライズ済みのディスクの消去や編集はできません。ファイナライズを解除してください。 	<p>348</p>

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

確認すること	解決法・その他	ページ
<p>本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/)でお知らせしています。 ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。 	<p>—</p>
<p>機器が正しく接続されていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「USBハードディスクを増設する」に従って、正しく接続します。 	<p>212</p>

確認すること	解決法・その他	ページ
機器の電源がはいっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • USBハードディスクの電源を入れます。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。 	—
機器が本機に登録されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • USBハードディスクを本機に登録します。 	216
USB ハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクを増設する」の「お知らせ」をご覧ください。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。 	215

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターを通して正しく接続します。 • 配信機器と本機を無線LANで接続するときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズがでたりする場合は、以下の操作をしてみてください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする ② 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜く ③ 1分以上待つ ④ 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントに差し込む ⑤ 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする <ul style="list-style-type: none"> • 映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。 <p>それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。</p>	228
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。 	—

確認すること	解決法・その他	ページ
本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス設定(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 ※機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。 	270
ネットワークメディアサーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「その他の設定」の「本機の情報」で確認することができます。 	
無線LANを2.4GHz帯で使用していませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。 	—
無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。 	—

ほかの機器で再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
—	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスクに録画した番組は、録画した機器でしか再生できません。(同じ形名のほかの機器でも再生できません) 	—

HDMI 連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※1080pの映像信号を出力する場合は、ハイスピードHDMI[®]ケーブルをご使用ください。4Kの映像信号(2160p)を出力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI[®]ケーブルをご使用ください。 	197
推奨機器(対応機器)ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/ でお知らせしています。 ※接続する機器により、動作しないことがあります。 	—

確認すること	解決法・その他	ページ
本機と接続機器の設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機とテレビを連動させるには、テレビ側の設定が必要です。テレビ側の設定操作については、テレビの取扱説明書を参照ください。 本機の「本体設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。 	<p>—</p> <p>290</p>

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

確認すること	解決法・その他	ページ
プロバイダーなどのインターネット利用契約はお済みですか。	<ul style="list-style-type: none"> 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。 ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。 	<p>—</p> <p>281</p>
接続や設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 確認して、正しく接続・設定します。 	—
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。 	—
本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 	270
ネットワークサービス利用設定を「利用する」にしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「利用する」に設定します。 	277
本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス(機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く)を利用できるソフトウェアバージョンですか。	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。クラウドサービスについて、くわしくは、ホームページ(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/)をご覧ください。 ※ インターネットを利用しているときに、本機の電源状態を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。みるコレが正しく表示されない場合、「ネットワークサービスの情報を初期化する」をおこなうと、正しく表示されるようになります。 	277

無線LANが使えない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続や設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 確認して、正しく設定します。 	267
お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。その場合、無線LANアクセスポイントが必要です。 	-
複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANは、近くに複数の無線LANアクセスポイントがある場合、複数の周波数帯が使われている場合、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こり接続できないことがあります。周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。 	-

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
<p>アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「ネットワーク接続設定」にある「アドレス設定 (IPv4)」を確認します。 • 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> ① 本機とルーターが接続されているか確認する ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する <ul style="list-style-type: none"> • 可能であれば、以下のテストをします 機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする <p>接続できたとき 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。</p> <p>接続できなかったとき ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。</p> ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する <ul style="list-style-type: none"> • 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。 <table border="1" data-bbox="370 903 852 1238" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リセットのしかた</th> <th style="width: 50%;">操作で対処したいとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 </td> </tr> </tbody> </table> • リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 • 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。 	リセットのしかた	操作で対処したいとき	<ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 	<p style="text-align: center;">270</p> <p style="text-align: center;">35</p> <p style="text-align: center;">340</p>
リセットのしかた	操作で対処したいとき					
<ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 					

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
<p>アドレス設定(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのルーターは、ブロードバンドルーターか確認します。 • 「ネットワーク接続設定」にある「アドレス設定(IPv4)」を確認します。 • 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。 接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。 • 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。 <ul style="list-style-type: none"> • ルーターを再起動する。 • 本機をリセットする <table border="1" data-bbox="384 643 865 975"> <thead> <tr> <th data-bbox="389 647 614 671">リセットのしかた</th> <th data-bbox="620 647 859 671">操作で対処したいとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="389 679 614 839"> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる </td> <td data-bbox="620 679 859 967"> <ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> • 本機のIPアドレスを確認する 	リセットのしかた	操作で対処したいとき	<ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 	<p>270</p> <p>35</p> <p>270</p>
リセットのしかた	操作で対処したいとき					
<ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 					

アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ								
<p>アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが空欄ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「ネットワーク接続設定」にある「アドレス設定(IPv6)」を確認します。 • 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合は)以下を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> ① 本機とルーターが接続されているか確認する ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器にIPv6アドレスが割り当てられているかを確認する <ul style="list-style-type: none"> • 可能であれば、以下のテストをします 機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする <p>接続できたとき 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。</p> <p>接続できなかったとき ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。</p> ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する <ul style="list-style-type: none"> • 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。 <table border="1" data-bbox="370 911 849 1246" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リセットのしかた</th> <th style="width: 50%;">操作で対処したいとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 電源プラグをコンセントから抜く</td> <td rowspan="3">① 本体の電源ボタンを押し続ける</td> </tr> <tr> <td>② 1分間以上待つ</td> </tr> <tr> <td>③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。</td> </tr> </tbody> </table>	リセットのしかた	操作で対処したいとき	① 電源プラグをコンセントから抜く	① 本体の電源ボタンを押し続ける	② 1分間以上待つ	③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。		<p>273</p> <p>273</p> <p>340</p>
リセットのしかた	操作で対処したいとき									
① 電源プラグをコンセントから抜く	① 本体の電源ボタンを押し続ける									
② 1分間以上待つ										
③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる										
③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。										
	<ul style="list-style-type: none"> • リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 • 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。 									

アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ
アドレス設定(IPv6)において、「自動取得」が選択されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのルーターは、ブロードバンドルーターか確認します。 「ネットワーク接続設定」にある「アドレス設定(IPv6)」を確認します。 アドレス、デフォルトゲートウェイ、プレフィックス長、プライマリアドレスに何らかの値が設定されていればルーターから正常にアドレスを取得できています。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。 	273▶

PPPoE設定ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
—	<ul style="list-style-type: none"> 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です) 	279▶

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態がよくありません。 [サブメニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。 コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	69
「放送が受信できません。 1. 本機と壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2. リモコンで見た放送(【地デジ】【BS】【CS】【4K】)ボタンを押してください 3. リモコンの【電源】ボタンを押して、アンテナレベルを確認してください コード：E202」	<ul style="list-style-type: none"> アンテナが放送に適合していない。 アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 アンテナの方向ずれや故障。 電波が弱くて視聴できない。 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 <p>※放送が休止中の場合も表示されることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。(販売店にご相談ください) BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。 	15 19 15 317
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	—
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	—
「ACASチップが認識できません。」	ACASチップが破損している。	裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンサー」にご連絡ください。	—

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「ファン異常により、まもなく電源が切れます。 本機の電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってから、もう一度電源プラグを差し込んでください。」	<ul style="list-style-type: none"> ファンが正常に動作していない ファンが回転していないため、内部温度が高目の状態になった。 	裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にご連絡ください。	—

ハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「ハードディスクが正常に動作していません。 電源ボタンで電源を入れなおして再度お試しください。 問題が解決しない場合は、取扱説明書に記載されている「東芝DVDインフォメーションセンター」へお問い合わせください。」	ハードディスクにエラーが発生した。	本機の電源を入れ直してみます。 それでも解決しない場合は、東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	—
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	—
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	—
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「再生できません。」	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。	—
	再生時に本機とUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	本機とUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。	—
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。くわしくは取扱説明書をご覧ください。」	本機とUSBハードディスクと通信に障害があった。	本機とUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	「録画番組を修復する」の操作をしてみます。	144

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「USB端子の電源容量を超えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	—

LAN 端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	259
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	276
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。くわしくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	328
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。くわしくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	328
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。くわしくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。くわしくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。(本機の動作は正常です)	—
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。くわしくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。くわしくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。くわしくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	認証エラーが発生した。		

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「8K番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。	—	—

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますが、故障ではありませんので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。(番組情報を取得するためです)
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。

本体前面の電源ボタンが点滅したときは

- デジタル放送用の番組表の番組情報を取得中、またはダウンロード更新中です。
- 番組情報や番組データを取得中以外にも、情報整理をするために点灯することがあります。
- 番組情報や番組データを取得中は、冷却ファンが回るなどで動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

電源プラグについて

- 本機の電源プラグをコンセントから抜くと、本機背面の地上デジタルアンテナ出力端子やBS・110度CSアンテナ出力端子に接続したテレビなどで放送を正常に受信できなくなります。その場合は、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで通電状態にしておいてください。
- 本機からBS・110度CS用アンテナにアンテナ電源を供給しているときに、本機の電源プラグをコンセントから抜くと、アンテナを共有しているテレビなど他の機器でBSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS・110度CSの4K放送が受信できなくなる場合があります。その場合は、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで通電状態にしておいてください。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているプレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。
- ① **画面表示** を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認する
 - ② 録画予約が設定されていないか確認する
 - 「予約の確認・変更・取り消しをする」(機能操作編 **91**) の手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
 - ③ リモコンまたは本体の電源ボタンを押して電源を切る
 - ④ 電源プラグをコンセントから抜く

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に録画・録音した内容は長期保存として使用しないでください。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。

- 録画した番組をメールやメッセージサービスなどで他の人に送る。
- 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。
著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。

本体内蔵ハードディスクおよび外付け USB ハードディスクについての重要なお願い

- 本機にはハードディスク(HDD)が内蔵されていますが、USBハードディスクを本機に接続して使用することもできます。
- ハードディスクは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことにお気をつけください。
 - 振動や衝撃を与えないでください。(特に動作中)
 - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
 - 本機は水平に置いてください。USBハードディスクは、メーカーの指示に従って置いてください。
 - 背面の内部冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
 - 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
 - 電源を入れたままの状態でも電源プラグをコンセントから抜かないでください。
 - 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
 - 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって記録データなどが損壊、喪失することがあります。
- ハードディスクは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合は、データの読み書きができなくなる恐れも十分にあります。このためハードディスクは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとにディスクなどにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合はその内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読みだせなくなることがあります。

冷却ファンについて

- 本機には内部で発生した熱を外部へ逃がすために冷却用ファンおよび通風孔が設けられています。通風孔がほこりなどで塞がれてしまうと放熱が不足し故障の原因となりますので、本機背面および底面の通風孔にほこりが溜まらないように本機の設置場所およびその周辺を定期的に掃除してください。

結露(露付き)について

- ※ 結露はハードディスクを傷めます。結露が起きた状態で使用しないようにご注意ください。
- ※ 結露がおきそうなときは、電源を入れないで一定の温度の場所にしばらくおいてからご使用ください。
- 「結露」はこんなときにおきます。
 - 本機を寒いところから、急に温かいところに移動したとき
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき

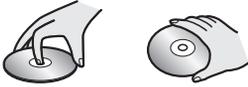
ディスクについて

ブルーレイディスク/DVD/CD全般

- 次のような場合は、正常に録画・再生できません。
 - 記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画/再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。
 - 本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。
 - パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、裏表紙の「リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作をお試しください」をご覧ください。
 - PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
 - 無許諾(海賊版など)のディスク。
 - クローズド・キャプション(Closed Caption)の録画・再生。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面(光っている面)には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたりしたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。市販品のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。



クリーニングディスクについて

- 市販品のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

ディスクの保管について

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置いたりすると、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。
- 次のようなディスクは使わないでください。ディスク自体の破損や本機の故障の原因となります。
 - ・ 傷が付いているディスク。
 - ・ ラベルやシールが貼られているディスク。
 - ・ ラベルがはがれているディスク。
 - ・ のりがはみ出しているディスク。
 - ・ ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
 - ・ 六角形など、特殊形状のディスク。

8cm盤のディスクを使用するときは

- 本機では再生できません。

BD-RE/BD-R

- 他の機器で録画してファイナライズ(クローズ)していないBD-Rは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- BD-RE/BD-Rは、お買い上げ時には初期化(フォーマット)されていません。使用する前に初期化してください。(ディスクの初期化については、「ディスクを管理する(機能操作編 347)」をご覧ください。)
- BD-RE Ver1.0 (カートリッジタイプ)は、本機では使用できません。

DVD-RW/DVD-R

- 他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- DVD-RW (VR) /DVD-R (VR) は、VR方式に対応したレコーダー/プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー/プレーヤーでのみ再生できます。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。

Ultra HDブルーレイ/

BD-Video/DVD-Video

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載通りに動作しないことがあります。くわしくはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面にマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD (コピーコントロール付きCDなど)やMP3 ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できません。

ご注意

- 以下の場合は、実際に録画できる時間は短くなります。
 - ・ ディスクに、傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき
 - ・ 映りが悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画したとき
- 高速記録対応のディスクを使用してダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。

お知らせ

- 保護されたディスクは、初期化(フォーマット)や録画などができません。
- ディスクでは「ディスク保護」や「ディスク保護解除」をおこなっても、ディスク残量を消費します。

ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本機またはリモコンのボタン操作でおこなってください。手で押して閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。また、ディスクトレイ上から押し下り、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まりません。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

本機の無線LANを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は、2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝DVDインフォメーションセンターへお問い合わせください。

連絡先：

東芝 DVD インフォメーションセンター

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル（通話料：無料）

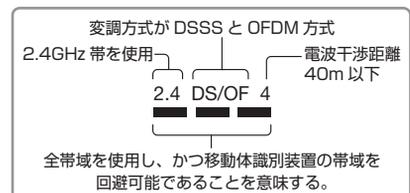
0120-96-3755

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル（通話料：有料）

0570-00-3755

※ IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1855（通話料：有料）

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用する場合は、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。
- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。
- **無線LAN：**



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯 (中心周波数帯)
IEEE802.11 b/g/n		1 ~ 13	2.412 ~ 2.472GHz
IEEE802.11 a/n/ac	W52	36,40,44, 48	5.18 ~ 5.24GHz
	W53	52,56,60, 64	5.26 ~ 5.32GHz
	W56	100,104, 108,112, 116,120, 124,128, 132,136, 140	5.50 ~ 5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など：
 - 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
 - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

無線LAN製品ご使用でのセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。
- **通信内容を盗み見られる**
 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。
- **不正に侵入される**
 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまうおそれがあります。
- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

HDMI 連動機能（レグザリンク）について

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応の機器として認識し、一部の連動操作ができることがあります。その動作を保証するものではありません。

- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

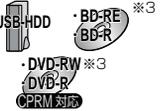
- 「すべての初期化」(機能操作編 **340**)で、暗証番号や双方向サービスの情報(住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報)も含めて、初期化してください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切関与いたしません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は故意または重過失ある場合を除き責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切関与いたしません。
- 本機に正しく記録(録画、録音など)できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は故意または重過失ある場合を除き責任を負いません。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切関与いたしません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。

デジタル放送の番組と録画制限について

- デジタル放送には視聴が有料の番組となる場合があることに加え、録画やダビングをおこなう際にもご注意いただきたい制限事項などがあります。

番組	番組録画	ダビング ^{※1} (移動またはコピー)
<p>制限なし</p>  <p>制限なしで録画やコピーが可能な番組</p>	 <p>ダビング (コピーまたは移動^{※2})</p>	
<p>コピーワンス</p>  <p>1回だけ録画可能な番組</p>	 <p>ダビング (移動^{※2}) ・コピーはできません</p>	
<p>ダビング10</p>  <p>ダビング元がHDDのとき、コピーが最大9回と移動が1回可能な番組</p>	 <p>ダビング (コピーまたは移動^{※2})</p>	
<p>録画・コピー禁止</p> 		

- ダビングについてくわしくは「編集・ダビングする」(機能操作編 **166**)をご覧ください。

- ※1 DVDへのデジタル放送のダビングはVRフォーマットになります。
- ※2 移動した場合は、ダビング元のHDDでは、その番組は再生できなくなります。
- ※3 ディスクにダビング10番組をダビングした場合は、番組はコピーワンスとなります。

お手入れについて



注意

■ お手入れのときは、電源プラグ
をコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。



お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

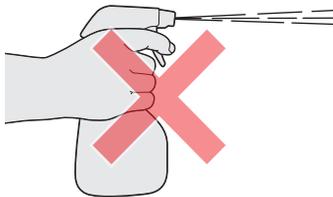
- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。本機表面を変質させます。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、本機表面を変質させます。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体が本機の内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



ぬれた手で手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴が本機の内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



本機のお手入れ

1. 本機に付着しているゴミ、ホコリを払う
 - 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。
 - ※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。
2. 乾いた脱脂綿または柔らかい布（綿、ガーゼなど）でやさしくふき取る

汚れが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤（中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める）に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。



- ※ 手に水滴がついているときは、本機に触れる前にふき取ってください。

仕様

種 類	東芝 HDD & ブルーレイディスクレコーダー			
形 名	DBR-4KZ600	DBR-4KZ400	DBR-4KZ200	
電 源	AC100V 50/60Hz 共用			
消 費 電 力	58W (BS アンテナ電源・ USB 電源供給時 58W)	58W (BS アンテナ電源・ USB 電源供給時 58W)	58W (BS アンテナ電源・ USB 電源供給時 58W)	
待機時 消費電力*	高速 起動	約 36W	約 36W	約 36W
	通常 起動	約 0.8W	約 0.8W	約 0.8W
	省エネ 起動	約 0.2W 地上デジタルアッテネーター： 「オン」	約 0.2W 地上デジタルアッテネーター： 「オン」	約 0.2W 地上デジタルアッテネーター： 「オン」
外形寸法	幅	430mm		
	高さ	59mm		
	奥行	260mm (突起含まず) / 270mm (突起含む)		
本 体 質 量	約 3.7kg	約 3.7kg	約 3.5kg	
録 画 方 式 (ブルーレイディスク)	Blu-ray Disc™ Rewritable Format 準拠、 Blu-ray Disc™ Recordable Format 準拠			
録 画 方 式(DVD)	DVD ビデオレコーディング規格準拠			
ハードディスク容量	6TB	4TB	2TB	
録 画 圧 縮 方 式	MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264			
録 音 圧 縮 方 式	ドルビーデジタル、MPEG-2 AAC			
録 画 可 能 デ ィ ス ク	「ダビングできるメディアと録画モード」 103 をご覧ください。			
録 画 時 間	「録画できる時間の目安」 623 をご覧ください。			
再 生 可 能 デ ィ ス ク	「再生できるメディア」 113 をご覧ください。			
リージョンコード	ブルーレイディスク：Region A DVD：Region 2、ALL			
受 信 チ ャ ン ネ ル	地上デジタル：地デジ011～地デジ528(CATVパススルー対応) BSデジタル：BS100～BS999 110度CSデジタル：CS001～CS999 BS・110度CS 4K：BS 4K 001～499、CS 4K 500～999			
地上デジタル入出力	75 Ω F 型コネクター			
BS/110度CS デジタル入出力	75 Ω F 型コネクター (最大DC15V、4W)			
H D M I 出 力	HDMI (映像・音声) 端子 Type A、 HDMI (音声) 端子 Type A			
USB (HDD専用)端子	USB3.0			

USB (メモリ専用)端子	USB2.0
L A N 端子	RJ-45
使用環境条件	温度：0℃～35℃、 相対湿度：20%～80% (結露のないこと)
付属品	「付属品を確認する」 9 をご覧ください。

※以下の設定とした場合。設定を変更すると消費電力が大きくなります。

- 衛星アンテナ電源供給：「しない」
- レグザリンク連携機能：「利用しない」
- ネットワーク接続設定：有線 LAN

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更する場合があります。

● 本機を使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

● 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。

● 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。

● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを楽しむことは有料放送契約上禁止されています。

(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

録画できる時間の目安

● 録画できる時間の目安は以下ようになります。

ハードディスクやUSBハードディスクの場合

例 ハードディスク(6TB) BDR-4KZ600の場合

タイムシフトマシン 録画用領域		0%	25%	50%	75%	87.5%
DR	DR放送画質 (4KBS/CS)	約 382時間	約 292時間 21分	約 194時間 54分	約 97時間 27分	約 48時間 42分
	DR放送画質 (BS/CS)	約 525時間 18分	約 402時間	約 268時間	約 133時間 57分	約 66時間 57分
	DR放送画質 (地デジ)	約 741時間 36分	約 567時間 30分	約 378時間 21分	約 189時間 6分	約 94時間 30分
AVC	AF(2倍モード)	約 1050時間 36分	約 804時間	約 536時間	約 267時間 54分	約 133時間 54分
	AN(3倍モード)	約 1575時間 54分	約 1206時間	約 804時間	約 401時間 51分	約 200時間 51分
	AS(4倍モード)	約 2101時間 12分	約 1608時間	約 1072時間	約 535時間 48分	約 267時間 48分
	AL(5.5倍モード)	約 2889時間 9分	約 2211時間	約 1474時間	約 736時間 42分	約 368時間 12分
	AE(16倍モード)	約 8404時間 48分	約 6432時間	約 4288時間	約 2143時間 12分	約 1071時間 12分

例 ハードディスク(4TB) BDR-4KZ400の場合

タイムシフトマシン 録画用領域		0%	25%	50%	75%	87.5%
録画モード						
DR	DR放送画質 (4KBS/CS)	約 254時間 40分	約 194時間 54分	約 129時間 56分	約 64時間 58分	約 32時間 28分
	DR放送画質 (BS/CS)	約 350時間 12分	約 268時間	約 178時間 40分	約 89時間 18分	約 44時間 38分
	DR放送画質 (地デジ)	約 494時間 24分	約 378時間 20分	約 252時間 14分	約 126時間 4分	約 63時間
AVC	AF(2倍モード)	約 700時間 24分	約 536時間	約 357時間 20分	約 178時間 36分	約 89時間 16分
	AN(3倍モード)	約 1050時間 36分	約 804時間	約 536時間	約 267時間 54分	約 133時間 54分
	AS(4倍モード)	約 1400時間 48分	約 1072時間	約 714時間 40分	約 357時間 12分	約 178時間 32分
	AL(5.5倍モード)	約 1926時間 6分	約 1474時間	約 982時間 40分	約 491時間 08分	約 245時間 24分
	AE(16倍モード)	約 5603時間 12分	約 4288時間	約 2858時間 40分	約 1428時間 48分	約 714時間 08分

例 ハードディスク(2TB) BDR-4KZ200の場合

タイムシフトマシン 録画用領域		0%	25%	50%	75%	87.5%
録画モード						
DR	DR放送画質 (4KBS/CS)	約 127時間 20分	約 97時間 27分	約 64時間 58分	約 32時間 29分	約 16時間 14分
	DR放送画質 (BS/CS)	約 175時間 06分	約 134時間	約 89時間 20分	約 44時間 39分	約 22時間 19分
	DR放送画質 (地デジ)	約 247時間 12分	約 189時間 10分	約 126時間 07分	約 63時間 02分	約 31時間 30分
AVC	AF(2倍モード)	約 350時間 12分	約 268時間	約 178時間 40分	約 89時間 18分	約 44時間 38分
	AN(3倍モード)	約 525時間 18分	約 402時間	約 268時間	約 133時間 57分	約 66時間 57分
	AS(4倍モード)	約 700時間 24分	約 536時間	約 357時間 20分	約 178時間 36分	約 89時間 16分
	AL(5.5倍モード)	約 963時間 03分	約 737時間	約 491時間 20分	約 245時間 34分	約 122時間 44分
	AE(16倍モード)	約 2801時間 36分	約 2144時間	約 1429時間 20分	約 714時間 24分	約 357時間 4分

- ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのサブメニューの機器の情報画面(機能操作編 **151**)に表示される「録画可能時間」)は、BSデジタルハイビジョン放送の最大(24Mbps)と4K放送の最大(33Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

ブルーレイディスクの場合

- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングする番組の合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が表示されている場合でも、チャプター数や管理情報がいっばいになり、ダビングできないことがあります。

例 SL (1層) 25GBのディスクの場合

放送番組の種類 (録画モード)	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送番組 (DR)	約 3 時間 4 分
BS・110度CSデジタルハイビジョン放送番組(DR)	約 2 時間 10 分
BS・110度CSの4K放送番組(4KDR)	約 1 時間 34 分

DVDの場合

- DVDの録画モードは、ディスクのフォーマットによって異なります。
VRフォーマット：XP～LP

例 SL (1層) 4.7GBのディスクの場合

放送番組の種類 (録画モード)	録画できる時間の目安
XP (1 時間モード)	約 1 時間 3 分
SP (2 時間モード)	約 2 時間 6 分
LP (4 時間モード)	約 4 時間 13 分

最大記録可能数／登録数／文字数について

- 上限をこえる場合は、メッセージが表示されます。
- 最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

項目	メディア	HDD、 通常録画用 USB-HDD	BD	VR フォーマット
番組数		3000(6000 ^{*1})	200	99
チャプター数 (1つの番組内)		999	99	99
チャプター数 (メディア内)		上限なし	1000	999
メディア名の 文字数		全角 40 文字 ^{*2}	全角 127 文字	全角 32 文字
番組名の文字数		全角 40 文字	全角 127 文字	全角 32 文字

※1 SeeQVault™対応ハードディスクの場合、通常番組 3000 件に加えて、SeeQVault™形式の番組が 3000 件の合計 6000 件まで記録できます。

※2 HDD のメディア名は変更できません。

- 録画予約数 128
- ダビングリストの番組登録数 64

お知らせ ● 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイルフォーマット	映像フォーマット	音声フォーマット	最大解像度	最大ファイル数
ディスク、ネットワーク メディアサーバー	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、 MPEG-1 Layer II	1920 × 1080	3000/ フォルダ
		H.264/ MPEG4-AVC	AAC、 ドルビーデジタル (AC3)	1920 × 1080	3000/ フォルダ
		HEVC	AAC、HE-AAC ドルビーデジタル (AC3)	3840 × 2160	3000/ フォルダ
	MPEG2-PS	MPEG2 Video	リニア PCM、 ドルビーデジタル (AC3)、 MPEG-1,2 Layer II	1920 × 1080	3000/ フォルダ
	MP4	HEVC	HEVC	AAC、HE-AAC	3840 × 2160
H.264/ MPEG4-AVC		AAC、HE-AAC、 リニア PCM、 ドルビーデジタル (AC3)、ド ルビーデジタルプラス (E- AC3)	3840 × 2160	3000/ フォルダ	

- ※ H.264/MPEG4-AVCの3840×2160の場合、フレームレートは最大で30fpsまでです。その他のフォーマットは60fpsまで対応しています。
- ※ 一部の動画は再生できないことがあります。特にMP4動画については、対応機器によっては再生できないことがあります。
- ※ 映像フォーマットがMPEG-4 Visualの場合は再生できません。
- ※ 音声がついていない映像だけの動画は再生できません。
- ※ 対応機器の性能によっては、映像が乱れたり、雑音が出たりするなど、正常に再生できないことがあります。

レグザリンク・ダビング対応 東芝ブルーレイレコーダー一覧(2021年8月現在)

- レグザリンク・ダビングに対応している東芝ブルーレイレコーダーは、以下となります。
DBR-T2010、DBR-T1010、DBR-W2010、DBR-W1010、DBR-M4010、DBR-M3010、DBR-UT309、DBR-UT209、DBR-UT109、DBR-T1009、DBR-W2009、DBR-W1009、DBR-W509、DBR-M3009、DBR-M4008、DBR-M2008、DBR-M3007、DBR-M1007、DBR-M590、DBR-M490、DBR-M190、DBR-M180、DBR-T3008、DBR-T2008、DBR-T1008、DBR-T3007、DBR-T2007、DBR-T1007、DBR-T670、DBR-T660、DBR-T650、DBR-T560、DBR-T550、DBR-T460、DBR-T450、DBR-T360、DBR-T350、DBR-W2008、DBR-W1008、DBR-W508、DBR-W2007、DBR-W1007、DBR-W507、DBR-E1007、DBR-E507、DBR-Z620、DBR-Z610、DBR-Z520、DBR-Z510、DBR-Z420、DBR-Z410、DBR-Z320、DBR-Z310、DBR-Z260、DBR-Z250、DBR-Z160、DBR-Z150、RD-BZ810、RD-BZ710、RD-BR610、RD-X10、RD-BZ800、RD-BZ700、RD-BR600
- 東芝レコーダー対応機種については、以下のURLをご覧ください。
https://www.regza.com/regza/bd_dvd/

対応機器について

- 接続できる機器については、ホームページで順次公開する予定です。
(https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/)

保証書

持込修理

品名	東芝ブルーレイディスクレコーダー		
形名	DBR-4KZ600/DBR-4KZ400/DBR-4KZ200		
製造番号	ふりがな		
★お名前	様		
★お客様	〒□□□-□□□□		
電話			
保証期間	本体	★お買い上げ日	
	1年		□□年□□月□□日から
★ご販売店	住所・店名		
	電話		

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「保証とアフターサービス」（P.67ページ）をご覧ください。

TVS REGZA株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

TEL 044-222-6283

本書は取扱説明書などの注意書による正常なご使用において、上記保証期間中に故障した場合、本書記載内容にしたがって、無料修理をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

・ご販売店様へ

形名、製造番号、お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書をお客様にお渡しください。

また、本書は再発行しませんので、紛失しないようにたいせつに保管してください。

- 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
 - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障・損傷。
 - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障・損傷。
 - 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障・損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障・損傷。

(ト) ご使用によるよごれ、キズ。

(チ) 塗装面およびメッキ部の摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。

- 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 本書は日本国内でのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 本商品の使用または使用不能による付随的な損害に関しては、保証・補償いたしかねます。詳しくは取扱説明書をご確認ください。
- ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理のご依頼ができない場合には、取扱説明書の「保証とアフターサービス」（P.67ページ）に記載の「東芝 DVD インフォメーションセンター」窓口にご相談ください。

修理メモ

修理年月日	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

<個人情報の取扱いについて>

- 本書にご記入いただいた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（一体）

- ・ 保証書は、この取扱説明書に記載されています。
- ・ 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容を良くお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- ・ 当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて製品交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
- ・ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- ・ 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間

- ・ お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合は、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	東芝ブルーレイディスクレコーダー
形名	DBR-4KZ600、DBR-4KZ400、DBR-4KZ200
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印などもあわせてお知らせください
お名前	
電話番号	☎ () -
便利メモ	
お買い上げ店名	☎ () -

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です
-----	-----------------------

+

部品代	修理に使用した部品代金です。
-----	----------------

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

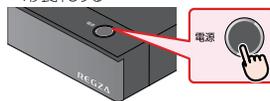
- 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 修理の際、やむを得ずハードディスクのデータを初期化させていただく場合がございます。ご了承ください。
- 新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法、および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については、本書の裏表紙をご覧ください。

商品のお問い合わせに関して

リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作をお試しください

- 1 本機の  を4秒間長押しする
10秒後に本機が強制終了します。
- 2 電源プラグをコンセントから抜き、数分間待つ
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む
- 4 電源をオンにして、動作を確認する

4秒長押しする



※ この操作をしても正常に動作しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

レグザブルーレイ／レグザタイムシフトマシンのホームページから
サポートページをご覧ください。

https://www.regza.com/regza/bd_dvd/



商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からの
ご利用は）

フリーダイヤル
（通話料：無料）

0120-96-3755

（携帯電話からの
ご利用は）

ナビダイヤル
（通話料：有料）

0570-00-3755

※ 間違い電話が増えています。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

※ フリーダイヤルは携帯電話など一部の電話ではご利用
できません。

（IP電話からの
ご利用は）

（通話料：有料）

03-6830-1855

（FAX）

（通話料：有料）

03-3258-0470

- 「東芝 DVD インフォメーションセンター」はTVS REGZA株式会社が運営しております。
- お客様の個人情報は、当社の「個人情報保護程」に従い適切な保護を実施しています。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダー訪問サポート(有償)

以下のURLから有償訪問サポートの内容をご確認いただけます。お気軽にご連絡ください。

<https://www.qac.jp/toshiba/>

訪問サポートは委託協力会社のキューアンドエー株式会社がお伺いします。



愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダー 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障の点検をぜひ！

- 再生しても音や映像が出ない。
- 煙が出たり、異常なおいや音がある。
- 水や異物がはいつた。
- ディスクが傷ついたり、取り出しができない。
- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

このような場合は、故障や事故防止のため、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対に行わないでください。

©TVS REGZA CORPORATION 2022
無断複製および転載を禁ず

TVS REGZA 株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

*所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

★★★★★